



2010年8月9日

各位

株式会社イオン銀行

インターネット専用投資信託の追加について

—2010年8月9日に6ファンドを追加—

イオン銀行（本店：東京都江東区）は、2010年8月9日（月）に、以下の6ファンドを追加いたします。

当行では、既にインターネット専用ファンドを20本お取り扱いしておりますが、お客さまの幅広いニーズにお応えするため、ファンドを追加するものです。今回の追加で、当行のインターネット専用ファンドは26本、当行のお取り扱いファンド数は合計で41本となります。

今後とも、お客さまのご要望にお応えするべく、ファンドの充実を図ってまいります。

【インターネット専用ファンド】

ファンド名	運用会社
ラサール・グローバル REIT ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント
みずほUSハイイールドオープンBコース（為替ヘッジなし）	みずほ投信投資顧問
世界銀行債券ファンド（毎月分配型）	日興アセットマネジメント
中央三井ダウ・ジョーンズインデックスファンド	中央三井アセットマネジメント
HSBC 世界資源エネルギーオープン	HSBC 投信
三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド	三菱UFJ 投信

当行は、「お客さま第一」の理念の実現に向け、お客さまにとって「親しみやすく、便利で、わかりやすい銀行」を目指しております。引き続きお客さまの声を真摯に受け入れ、商品・サービスの充実に努めてまいります。

以上



「ラサール・グローバル REIT ファンド（毎月分配型）」の商品概要

名称	ラサール・グローバル REIT ファンド（毎月分配型）	
運用会社	日興アセットマネジメント	
ファンドの特色	主としてマザーファンドを通じて、世界各国の金融商品取引所に上場の不動産投信（REIT）を中心に投資を行うことで、比較的高い分配金利回りを安定的に獲得することをめざします。	
当ファンドの手数料	申込手数料（税込）	2.625%
	信託報酬（税込）	純資産総額に対して年率1.575% この他に、投資対象とする「世界 REIT マザーファンド」の主要投資対象である不動産投信には運用などに係る費用がかかりますが、投資する不動産投信の銘柄は固定されていないため、事前に料率、上限額などを表示することができません。
	信託財産留保額	ありません。
	その他費用	組入れ有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息などが信託財産の中から差し引かれます。これらの諸費用は今後の組入れ有価証券の取引状況、借入状況等に左右されるため、現時点では総額は未確定であり、その金額を明示することはできません。なお、これら費用は当ファンドの基準価額に反映されます。
	当該手数料等の合計については、お客さまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することはできません。	
当ファンドの主なリスク	当ファンドは、主に不動産を実質的な投資対象としますので、不動産価格の下落や、不動産市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」および「為替変動リスク」などがあります。 ※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	
決算日	毎月5日 (当該日が休業日の場合は翌営業日とします。)	
収益分配	毎決算日に、日興アセットマネジメントが収益分配方針に基づき分配を行いません。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

*詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

「みずほUSハイイールドオープン Bコース（為替ヘッジなし）」の商品概要

名称	みずほUSハイイールドオープン Bコース（為替ヘッジなし）	
運用会社	みずほ投信投資顧問	
ファンドの特色	主として米国の米ドル建ての高利回り債に投資を行い、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。	
当 フ ァ ン ド の 手 数 料	申込手数料 (税込)	3.15%
	信託報酬 (税込)	純資産総額に対して年率1.47%
	信託財産留保額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額に対して0.2%
	その他費用	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、信託財産の管理に要する費用等が信託財産の中から差し引かれます。これらの諸費用は今後の組入有価証券の取引状況等に左右されるため、現時点では総額は未確定であり、その金額を明示することはできません。なお、これら費用は当ファンドの基準価額に反映されます。
当該手数料等の合計については、お客さまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することはできません。		
当ファンドの 主なリスク	当ファンドは、主に海外の公社債を実質的な投資対象としています。組入れた公社債の値下がりや、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響により、ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、当ファンドは、外貨建資産に投資しますので、為替変動により損失を被ることがあります。 したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「信用リスク」、「為替変動リスク」、「金利変動リスク」、「流動性リスク」などがあります。 ※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	
決算日	毎月7日 (当該日が休業日の場合は翌営業日とします。)	
収益分配	毎決算日に、みずほ投信投資顧問が収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

*詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

「世界銀行債券ファンド（毎月分配型）」の商品概要

名称	世界銀行債券ファンド（毎月分配型） 【愛称：ワールドサポーター】	
運用会社	日興アセットマネジメント	
ファンドの特色	主として世界銀行が発行する新興国通貨建て債券を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
当ファンドの手数料	申込手数料（税込）	2. 1%
	信託報酬（税込）	純資産総額に対して年率0. 945% なお、投資対象とするケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラス A」の組入れに係る信託報酬率（年率）0. 323%程度※がかかり、受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は1. 268%程度となります。 受益者が実質的に負担する信託報酬率（年率）は、投資対象とする投資信託証券の純資産総額や組入比率などにより変動します。 ※ 当該外国投資信託の信託報酬率は、当該外国投資信託の純資産総額が200億円、為替相場が1米ドル＝120円の場合の概算値です。
	信託財産留保額	ありません。
	その他費用	目論見書の作成および交付に係る費用、運用報告書の作成および交付に係る費用、監査費用などの諸費用は委託会社が定めた時期に、信託財産から年率0.1%以内で差し引かれます。 また、組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などの売買委託手数料がその都度、信託財産から支払われます。 売買委託手数料は運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。
	当該手数料等の合計については、お客さまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することはできません。	
当ファンドの主なリスク	当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。 したがって、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「価格変動リスク」「流動性リスク」「信用リスク」などがあります。 ※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	
決算日	毎月12日 (当該日が休業日の場合は翌営業日とします。)	
収益分配	毎決算日に、日興アセットマネジメントが収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、分配対象額が小額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

***詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。**

「中央三井ダウ・ジョーンズ インデックスファンド」の商品概要

名称	中央三井ダウ・ジョーンズ インデックスファンド	
運用会社	中央三井アセットマネジメント	
ファンドの特色	ダウ工業株30種平均株価に採用されている米国の主要な株式30銘柄への投資を行い、ダウ工業30種平均株価（円ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。	
当 フ ア ン ド の 手 数 料	申込手数料 (税込)	2.1%
	信託報酬（税込）	純資産総額に対して年率0.7245%
	信託財産留保額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額に対して0.2%
	その他費用	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等が、ファンドを保有される期間中、その都度かかります。 信託財産の財務諸表の監査に要する費用は、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日及び毎計算期末又は信託終了のときに信託財産中から支弁します。 借入金の利息は、原則として借入金返済時に信託財産中から支弁します。 これらの諸費用は今後の組入有価証券の取引状況、借入状況等に左右されるため、現時点では総額は未確定であり、その金額を明示することはできません。なお、これら費用は当ファンドの基準価額に反映されます。
	当該手数料等の合計については、お客さまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することはできません。	
当ファンドの 主なリスク	当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。 したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。 信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様に帰属します。 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」などがあります。 ※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	
決算日	毎年4月20日 (当該日が休業日の場合は翌営業日とします。)	
収益分配	毎決算日に、中央三井アセットマネジメントが収益分配方針に基づき分配を行いません。ただし、分配対象額が小額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

***詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。**

「HSBC 世界資源エネルギーオープン」の商品概要

名称	HSBC 世界資源エネルギーオープン	
運用会社	HSBC 投信	
ファンドの特色	主としてマザーファンドを通じて、世界の資源、エネルギー、新エネルギー、公益、食糧等に関連する株式等に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。	
当 フ ア ン ド の 手 数 料	申込手数料 (税込)	3.15%
	信託報酬 (税込)	純資産総額に対して年率1.995%
	信託財産留保額	ありません。
	その他費用	有価証券売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、借入金利息、融資枠設定に要する費用、投資信託財産に関する租税、信託事務処理に要する費用、受託会社が立替えた立替金利息等が信託財産の中から差し引かれます。 投資信託振替制度に係る手数料および費用、法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用、当ファンドの受益者に対して行う公告に係る費用、法定書面の作成、印刷、交付に係る費用、監査報酬および法律顧問、税務顧問に対する報酬および費用等が純資産総額に対し、上限0.2%としてファンドより支払われます。 これらの諸費用は今後の組入有価証券の取引状況、借入状況等に左右されるため、現時点では総額は未確定であり、その金額を明示することはできません。なお、これら費用は当ファンドの基準価額に反映されます。
	当該手数料等の合計については、お客さまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することはできません。	
当ファンドの 主なリスク	当ファンドは、主に外国株式を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格の変動や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資するため、為替の変動により損失を被ることがあります。 したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「流動性リスク」、「カントリーリスク」などがあります。 ※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	
決算日	毎年3月29日 (当該日が休業日の場合は翌営業日とします。)	
収益分配	毎決算日に、HSBC 投信が収益分配方針に基づき分配を行いません。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

***詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。**

「三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド」の商品概要

名称	三菱UFJ グローバル・エコ・ウォーター・ファンド 【愛称：ブルーゴールド】	
運用会社	三菱UFJ 投信	
ファンドの特色	当ファンドは、世界（含む日本）の水関連企業の株式に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。	
当ファンドの 手数料	申込手数料 (税込)	3.15%
	信託報酬 (税込)	純資産総額に対して年率1.05% 受益者が負担する実質的な信託報酬率（上限率）は、年1.75%です。上限値は、投資対象とする投資信託証券における信託報酬率を含めた実質的な信託報酬率を算出したものです。
	信託財産留保額	解約請求受付日の翌営業日の基準価額に対して0.3%
	その他費用	売買委託手数料、監査報酬、組入資産の保管等に要する諸費用などが信託財産の中から差し引かれます。これらの諸費用は今後の組入有価証券の取引状況等に左右されるため、現時点では総額は未確定であり、その金額を明示することはできません。なお、これら費用は当ファンドの基準価額に反映されます。
	当該手数料等の合計については、お客さまがファンドを保有される期間、売買金額等に応じて異なりますので、表示することはできません。	
当ファンドの 主なリスク	当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式市場の相場変動により組入株式の価格が下落すること、組入株式の発行者の倒産や財務状況の悪化等の影響により、組入株式の価格が下落すること等で当ファンドの基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、実質的に外貨建資産に投資しますので、為替の変動により損失を被ることがあります。 したがって、投資家のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「組入株式の価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。 ※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。	
決算日	毎年7月22日 (当該日が休業日の場合は翌営業日とします。)	
収益分配	毎決算日に、三菱UFJ 投信が収益分配方針に基づき分配を行いません。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。	

*詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

【投資信託に関する留意点】

- 投資信託は預金や保険ではありません。
- 投資信託は預金保険制度・保険契約者保護機構の対象ではありません。また、当行でご購入いただきました投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は、国内外の有価証券等（株式、公社債、不動産投資信託（REIT）、投資信託証券等）に投資をしますので、投資対象の価格の変動、組入有価証券の発行者にかかる信用状況等の変化、外国為替相場の変動、投資対象国の格付の変更等により基準価額が変動します。
- 投資信託の運用による利益および損失は、投資信託をご購入いただきましたお客さまに帰属します。
- 投資信託については元本および利回りの保証はありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を約束するものではありません。
- 当行はご購入・ご換金のお申込みについて取扱を行っております。投資信託の設定・運用は各委託会社が行います。
- 投資信託のご購入にあたっては申込手数料（基準価額の最大 3.15%（税込））がかかることがあります。また、換金時に信託財産留保額（基準価額の最大 0.50%）がかかることがあります。これらの手数料等とは別に信託報酬（投資信託の純資産総額の最大年 2.0475%（税込））と監査報酬、有価証券売買手数料、組入資産の保管等に要する諸費用などその他費用等（運用状況等により変動し、事前に料率、上限額を示すことができません。）を信託財産を通じてご負担いただきます。お客さまにご負担いただく手数料はこれらを足し合わせた金額となります。これらの手数料や諸経費等はファンドごとに異なります。詳細は各ファンドの目論見書等をご確認ください。
- 投資信託のご購入に際しては、必ず最新の「目論見書」および「契約締結前交付書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。一部の投資信託には、信託期間中に中途換金ができないものや、換金可能日時があらかじめ制限されているものなどがありますのでご確認ください。
- 投資信託は個人のお客さまのみ、また、原則として 20 歳以上のご本人さまによるお取引とさせていただきます。

商号等：株式会社イオン銀行

登録金融機関 関東財務局長（登金）第 633 号

加入協会：日本証券業協会

【ご注意事項】

- 当資料は、ニュースリリースとしてイオン銀行が作成した資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。
- 当資料に記載されている各事項は、作成時点のものであり、予告なしに変更する場合があります。